

公共事業事前評価調書(平成29年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	伊江港港湾改修事業	事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	伊江村字川平地先				
事業の諸元	波除堤L=60m、消波工-1 L=260m、消波工-2 L=80m、岸壁(-5.0m)改良 L=100m				
事業の概要	<p>伊江港は、本部半島の北西約9kmの伊江島の南東側に位置する地方港湾であり、本部港(本部地区)との間に定期フェリーが就航しているほか、地元の小型船等も利用している。</p> <p>本事業は、外海から進入したうねりが港内で増幅し、係留中の船舶が大きく動揺する現象を解消するため、岸壁改修及び波除堤等の整備を行うものである。</p>				
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》伊江港は外海からのうねりが航路に沿って直接港内へ侵入しやすい港型となっている。また、港口沖は急深なため沖防波堤の整備は難しく、狭隘な港内で波除堤等の整備も難しいため、進入したうねりがフェリー岸壁前面で増幅することにより係留中の船舶が大きく動揺し、荷役や乗客の乗降に支障をきたしている状況である。</p> <p>このような状況を改善し、港湾利用者が安全に荷役作業や船舶への乗降を行えるためにも、港内攪乱時対応の岸壁、波除堤等を整備する必要がある。</p> <p>《効果》港内攪乱時対応の岸壁及び波除堤が整備されることにより、利用者の安全性が確保され、また年間を通じて安定した係留が可能になることから稼働率や荷役効率が向上するため、フェリーの安定就航が可能となり、伊江村の定住化促進に寄与できる。</p>				
事業期間	事業採択	平成29年度	完了(予定)	平成33年度	
全体事業費	18	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率 9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	沖縄21世紀ビジョン基本計画において、「基本施策3-(11)離島における定住条件の整備—交通基盤の整備と交通ネットワークの充実化」に位置付けがある。				
環境への配慮	既存の岸壁改良、消波工の改良が主であり、環境への影響は軽微であると考えが、施工時における粉塵、騒音等に配慮し、周辺環境への影響を最小限にするよう努める。				
関係する地方公共団体等の意見	地元伊江村より、静穏度向上の要望がある。				
概要図(位置図)					